

⑥大殿小学校

明治6年豎小路小学創立、鴻東小学校等の改称を経て（同28年さきがけの松植樹）、同39年大殿尋常高等小学校と改称。同45年現在地に移転。

⑦警察署

維新後警察機構が整備され、明治5年に吉敷郡等を管轄する取締組が県庁に置かれました。明治17年に山口警察署として下豎小路に新築開庁されました。後の下豎小路派出所の場所にあたります。昭和14年清水に、昭和47年糸米の現在地に移転しました。

⑧中学校

現山口高等学校の前身。明治3年山口明倫館は山口中学と改称、鴻城学舎、山口中学校を経て明治19年山口高等中学校発足に伴い、その予備門として山口学校が設立。同24年現市民会館の地に移転、同28年山口県尋常中学校となり、同31年校舎をこの地に新築・移転、当時県下最大の工事だったといえます。同34年山口中学校と改称。多くの人材を輩出しました。

⑨高等商業学校

明治19年山口高等中学校が設置され、学都山口を代表する高等教育機関として同27年（旧制）山口高等学校へと引き継がれます。明治38年山口高等商業学校に改編、日露戦争後、大陸で活躍する人材育成を見据えた実業専門学校として、全国で3番目の官立高商に。山口大学経済学部の前身。

⑩師範学校

明治6年旧山口明倫館内に教員試験所、翌年山口県教員養成所を設立。同10年山口県師範学校と改称、同18年山口師範学校に改称等変遷を経て、戦後山口大学教育学部となりました。

⑪鴻城学校（鴻城中学校）

明治22年大谷新二が諸願小路に私塾鴻城義塾を開設。後に早間田に移り、同30年鴻城中学校と改称。昭和13年小郡へ移転、戦後鴻城高等学校に。

⑫図書館

明治36年後河原に開館。公立図書館として国内初の児童閲覧席や公開書架を設置。蔵書の増大に伴い、大正7年煉瓦造3階建の書庫が増設されました。（現C・S赤れんが）

⑬永楽座

明治41年愛国婦人会山口支部第1回総会の際、歌舞伎芝居などが催され、会員や軍人遺族などに開放されました。後に山口座が新設され、芝居の間には活動写真も上映されました。旧公設市場付近にあたります。

⑭町役場

明治22年山口町が発足、役場は米殿小路の常妙寺等に仮設、同24年中市町の旧山田本陣の地に移転しました。

山口町全図（兩村明倫所蔵） 明治41年（1908）



明治中頃の大殿地区（山口市歴史民俗資料館蔵）



①洞春寺

毛利元就の菩提寺。幕末山口移鎮に伴い萩から山口へ移転することとなり、文久4年（1864）万年寺と改号。江戸時代この地にあった常栄寺は文久3年宮野へ移り、そこに明治4年万年寺が移転、同32年再び洞春寺となりました。

②歩兵第四十二連隊

明治30年広島から移駐してきました。同33年北清事変へ、同37年日露戦争へ出兵。日露戦争戦利品28cm臼砲が亀山南側平蓮寺山に設置（同43年竣工）され、号砲により正午を知らせ、親しまれました。

③光城女学校

明治12年服部章蔵が下関にミッション系の光塩学校を開設、同24年広島の広陵女学校と合併し山口英和女学校を道場門前に開校。翌年後河原に移転し光城女学院と改称、同27年野田に移転しました。大正3年長崎の梅香崎女学校と合併して下関に移り、両校の一字ずつをとって梅光女学院が誕生。明治28年設立された明星幼稚園が大正4年この地に移りました。

④縣病院

明治16年八坂神社境内に山口県立病院を設置、翌年八幡馬場に移転し診療を始めました。大正9年縣病院から日本赤十字社山口支部病院となりました。

⑤村尾裁縫女学校

野田学園の前身。藩主毛利元徳子息の養育主任を務めた村尾マツが、明治10年大殿大路に裁縫所を創設、同35年私立村尾女子裁縫学校と改称しました。大正9年野田に移転、野田女学校と改称しました。